

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名: マルチダイヤWBグリース3(N)  
会社名: 大同油脂株式会社  
住所: 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地(ソリッドスクエア西館8階)  
担当部門: 営業グループ  
電話番号: 044-276-8695  
FAX番号: 044-276-8696  
受付日時: 月曜～金曜 9:00～17:00  
緊急連絡先: 046-251-0758

## 2. 危険有害性の要約

### 健康有害性

生殖毒性: 区分2(シンボル: 健康有害性、注意喚起語: 警告)  
記載のないものは分類対象外または分類できない。

### GHSラベル要素

#### シンボル:



#### 注意喚起語:

#### 危険有害性情報:

#### 警告

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
授乳中の子に害を及ぼすおそれ

### 注意書き

#### 一般的:

- ・ 子供の手の届かないところに置くこと。

#### 安全対策:

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 粉じん/ミストを吸入しないこと。
- ・ 妊娠中および授乳期中は接触を避けること。
- ・ 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 応急措置:

- ・ 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
- ・ 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。
- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

#### 保管

- ・ 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
- ・ 密閉容器に保管すること。
- ・ 施錠して保管すること。

#### 廃棄

- ・ 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:	混合製品	
成分及び含有量:	潤滑油基油(鉱油)	80~90質量%
	増ちょう剤(リチウム石けん)	10~20質量%
	2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	1質量%未満
官報公示整理番号(化審法、安衛法):	企業秘密なので記載できない	
CASNo.:	企業秘密なので記載できない	
国連分類及び国連番号:	該当しない	
危険有害成分:		
化学物質管理促進法:	該当しない	
労働安全衛生法 第57条 表示対象物:	鉱油	
労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物:	鉱油	80~90質量%
	2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	1質量%未満
毒物劇物取締法:	該当しない	

## 4. 応急措置

吸入した場合:	<ul style="list-style-type: none"> <li>新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の診断を受ける。</li> </ul>
皮膚に付着した場合:	<ul style="list-style-type: none"> <li>大量の水および石鹸で洗い流す。</li> <li>外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。</li> </ul>
目に入った場合:	<ul style="list-style-type: none"> <li>直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。</li> <li>出来るだけ早く医師の診断を受けること。</li> </ul>
飲み込んだ場合:	<ul style="list-style-type: none"> <li>無理に吐かせないで、医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。</li> </ul>

## 5. 火災時の措置

消火剤:	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂。</li> </ul>
特定の消火方法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>水を消火に用いてはならない。</li> <li>可燃性のものを周囲から早く取り除く。</li> <li>指定の消火剤を使用すること。</li> <li>消火活動は風上より行う。</li> <li>初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。</li> <li>大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。</li> <li>高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。</li> </ul>
消火を行う者の保護:	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な保護具(耐熱性着衣)を着用する。</li> </ul>

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。</li> </ul>
環境に対する注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川等に排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。</li> </ul>
除去方法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。</li> <li>着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。</li> <li>衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。</li> <li>乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ、大量の場合は盛り土で囲って流出を防止する。</li> <li>漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</li> <li>付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。</li> <li>風上から作業し、風下の人を退避させる。</li> </ul>

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

- 換気のよい場所で取り扱う。
- 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- 静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。
- 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
- 取扱い場所の近くに緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
- 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない
- 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 休憩場所には手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいならない。
- 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
- 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着けて作業すること。
- 発散した蒸気(粉じん)を吸い込まないようにする。
- 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
- 容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
- 容器はその都度密栓する。

注意事項:

安全取扱い事項:

保管:

適切な保管条件:

- 直射日光を避ける。
- 火気熱源から遠ざける。
- 通気のよい場所で容器を密閉し冷暗所に保管する。
- 防湿に留意する。
- 長期間の保管を避ける。
- 特になし。

安全な容器包装材料:

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

- 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにする。
- 取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
- 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

管理濃度:

物質名	管理濃度	許容濃度(ACGIH)
鉱油	データなし	TWA 5mg/m <sup>3</sup> (mist)
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	データなし	TWA 2mg/m <sup>3</sup> (IFV)

保護具:

呼吸用の保護具:

手の保護具:

目の保護具:

皮膚及び身体の保護具:

適切な衛生対策:

- 必要に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 耐油性手袋。
- 普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型。
- 長袖作業服等。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- マスク等の吸着剤の交換は、定期又は使用の都度行う。

9. 物理的及び化学的性質

形状:

半固体

色:

黄土色

臭い:

オイル臭

pH:

データなし

沸点:

データなし

融点:

データなし

引火点:

200℃以上(基油)

発火点:

データなし

爆発特性	
爆発限界:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
密度:	0.92g/cm <sup>3</sup>
溶解性:	難水性
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	・ 通常条件で安定。
反応性:	・ 自己反応性なし。
避けるべき条件:	・ 火気、酸化剤との接触。
危険有害な分解生成物:	・ 熱分解させると、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

	鉱油	リチウム石けん	2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール
急性毒性(経口)	分類できない	分類できない	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	分類できない	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない	分類できない	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない	分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない	分類できない	区分外
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	分類できない	区分2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	分類できない	分類できない
生殖毒性	分類できない	分類できない	区分2
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	分類できない	分類できない	区分1 (神経系)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない	分類できない	区分2 (肺、肝臓)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	分類できない

12. 環境影響情報

	鉱油	リチウム石けん	2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール
水生環境有害性(急性)	分類できない	分類できない	区分1
水生環境有害性(慢性)	分類できない	分類できない	区分1

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄方法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。</li> <li>・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。</li> <li>・ 排水処理、焼却装置等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。</li> <li>・ 廃棄物等を焼却処理する場合は、有毒ガス発生のおそれがあるため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。</li> </ul>
汚染容器・包装の廃棄方法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。</li> </ul>

## 14. 輸送上の注意

## 国内規制:

陸上輸送:

- ・ 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送:

- ・ 船舶安全法等に定められている運送方法に従う。

航空輸送:

- ・ 航空法等に定められている運送方法に従う。

輸出:

- ・ 輸出貿易管理令 別表第1の16の項に該当。

## 国際規制:

国連分類:

- ・ 該当しない。

国連番号:

- ・ 該当しない。

容器等級:

- ・ 該当しない。

## 15. 適用法令

高圧ガス保安法:

該当しない

消防法:

非危険物(指定可燃物 可燃性固体類)

労働安全衛生法:

法57条の2(名称等を通知すべき有害物)2016年6月1日改正

鉱油

2,6-ジ-ターシャリー-ブチル-4-クレゾール

法57条(名称等を表示すべき有害物)2016年6月1日改正

鉱油

有機溶剤中毒予防規則:

該当しない

化学物質管理促進法:

該当しない

毒物及び劇物取締法:

該当しない

水質汚濁防止法:

施行令第3条生活環境汚染項目(排水基準) 鉱油5mg/L以下

下水道法:

施行令第9条排出基準 鉱油5mg/L以下

海洋汚染防止法:

法第4条 船舶からの油の排出の禁止 潤滑油(鉱油)

化学物質の審査及び

優先評価化学物質

製造等の規制に関する法律

2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

(法2条化学物質):

廃棄物処理法:

産業廃棄物

## 16. その他の情報

引用文献

JIS Z 7253

NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。